



52年目、扇小の重点

学校長 村越 新

新年度が始まってから、一週間がたちました。扇っ子は皆、希望に胸膨らませ、目を輝かせて学校生活を始めてくれました。子供たちの活気で、我々教職員も真の春の訪れを感じている毎日です。

さて、52年目扇小学校の重点についてお伝えします。今年「信」を合言葉に、以下の3点に重点的に取り組んでまいります。



- 一 子供を**信じる**。信じ切る
- 二 「**問い**」を引き出す。「問い」の質を高める
- 三 **心理的安全性**を確保する。子供たちに創らせる。



一について。子供の力や可能性、自主性や成長を**信じる**ということです。つい私たち大人は、子供ができることにも手を貸してしまいます。口を出してしまいます。失敗させないように先手を打ってしまいます。危険なことを除けば、たとえ失敗したとしても、誰かの指示通り活動するよりも、主体的に活動した時の方が学びは大きいのです。子供が自力でできることについては、自力で行う姿を**見守り**、**見届け**たいと考えています。

二について。子供の「問い」を生み出すことが**真の教育**という考えは変わりません。今年はこの「問い」高めていきたいと考えています。すぐに答えが導き出せる「問い」を、集団で学び合う価値がある「問い」に、さらに自身の**探究**が続く「問い」へと、高めるべく授業実践について研修しようと計画しています。学習においても生活においても「探究する力」こそが、自らの**夢や目標を叶える**ために重要な力であると、私たちは考えています。



三について。「自分らしさを思う存分出せて、失敗しても許される」**心理的安全性**は、学習集団にとって必要不可欠なものです。これを作り出すのは我々教職員の大事な役目であることは確かですが、集団を形成する子供たち自身が**自分たち**で作っていく意識をもたせたいのです。子供たちが心理的安全性を作り出せたら、素晴らしいと思います。

扇小学校がめざす学習集団

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 一 失敗が成長に変わる集団 | 失敗を笑ったりバカにしたりする子がいない |
| 二 発言が尊重される集団 | 話を最後まで聴くことができない子がいない |
| 三 学び合いが充実する集団 | 訊いても無視する子がいない |
| 四 誰も取り残されない集団 | 困っている人を見捨てる子がいない |
| 五 人権が保障される集団 | 学習権、発言権、基本的権利を奪う子はいない |

一年生を迎える会

4月14日（火）に一年生を迎える会を行いました。
昨年度の計画委員だった五年生が進行し、とてもあたたかい会となりました。

各学年を、五年生が次のように紹介しました。（ ）内は、呼ばれた学年が声をそろえて言った言葉です。

「遊ぶの大好き、緑の名札の二年生」

（仲良くしてね）

「元気いっぱい、白い名札の三年生」

（学校たのしいよ）

「明るい、青い名札の四年生」

（勉強がんばろうね）

「扇小学校のサブリーダー、赤い名札の五年生」

（一緒に遊ぼうね）

「扇小学校を全力で盛り上げる、黄色い名札の六年生」

（何でも聞いてね）

一年生は、「勉強が楽しみです」「給食が楽しみです」「みんなと遊ぶのが楽しみです」と元気に宣言してくれました。



お願い ～放課後の過ごし方～

陽気がよくなり、新しい学校生活で気持ちが高まっている子が多いと思います。放課後や休みの過ごし方として、ご家庭でいくつかの再確認をお願いします。

★子供だけでお店等のお金を使える場所に行かない

★自分で買った（買ってもらった）物を人に与えない（人からもらわない）

★外出する際には、予定を確認する（場所、行動する人、行動の内容、帰宅時刻）

先日も通知をしましたが、最近のトラブルは SNS がからむ大きな事案になるケースが多く、学校で対応できないことが増えています。基本的な生活行動をしっかりと固めておいてもらいたいです。